



Silicon Valley Extended Program

シリコンバレー長期滞在型コース

募集要項

応募締め切り：2025年7月7日(月) 12:59 (JST)

JETRO

日本貿易振興機構(ジェトロ)

INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要



目的

グローバル進出に必要なマインドセット、知識、スキル、リレーションを構築し、グローバルVCを惹きつける資金調達戦略を策定する

1	グローバル進出のためのマインドセットや基礎知識の理解
2	海外PMF実現のためのピッチブラッシュアップ
3	グローバルVCを惹きつける資金調達戦略の策定

派遣先

米国・シリコンバレー（パロアルト）

主な対象

対象企業	グローバル進出を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	プレシード～シリーズA
分野	全分野
その他	<ul style="list-style-type: none">海外展開における意思決定が可能な方（CXOクラス推奨）がプログラムを通じて参加が可能なことグローバル市場への進出を目指し、1か月程度北米での滞在が可能なこと

※渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください



1 国内ミートアップ



ブートキャンプ & ピッチ審査 (25-30社程度)

グローバル進出に向けた基礎知識の理解およびマインドセットの構築を目的として、支援機関の500 Globalメンターによるレクチャー、および個別メンタリング参加者の選考を目的とした5分間のピッチ審査を実施

2 個別メンタリング



渡航前集中メンタリング (10社程度)

審査を通過したスタートアップのニーズの掘り下げ（主要KPIの設定や製品のPMF等を目的として、集中的にメンタリングやワークショップ等を実施）、次ステップの選考を目的とした個別メンターによる審査を実施

3 現地滞在プログラム



セッション・メンタリング・ ネットワーキング (10社程度)

グローバル市場展開の検証を目的として、現地で長期滞在しながら、セッション、メンタリング、ネットワーキング等を実施。また、グローバル投資家へのアプローチを目的としたバーチャルデモデイの撮影を実施

4 フォローアッププログラム



渡航後サポート (10社程度)

帰国後、引き続きグローバル進出に向けたロードマップ作成、進捗のトラッキング

1 国内ミートアップ | ブートキャンプ&ピッチ審査

グローバル進出に向けた基礎知識の理解およびマインドセットの構築を目的として、支援機関である 500 Global メンターによるレクチャーを提供するとともに、次ステップ参加者の選考として3分間のピッチ審査を実施

定員 25-30社程度（各社2名まで）

**日程
場所** 1週目：2025年8月18日(月)～8月22日(金) / 2週目：2025年8月25日(月)～8月29日(金)
東京

概要

- **ブートキャンプ（1週目／5日間、対面）**
 - イントロダクション & 概要説明
 - 500 Global メンターによるグローバルに向けた基礎知識に関するレクチャー（国外PMF、GTM、ストーリーテリング等）
 - グローバルマインドセットの理解
- **ピッチ審査（2週目／5日間、対面）**
 - 3分間のピッチ審査に向けた準備
 - ピッチ準備に係る1on1およびグループメンタリングの実施
 - 審査（審査員：500 Global チーム、ジェトロ、ゲスト審査員）

※原則、全日程を対面で実施します。

2 個別メンタリング | 渡航前集中メンタリング

審査を通過したスタートアップのニーズの掘り下げ（主要KPIの設定や製品のローカライズ化等を目的として、集中的にメンタリングやワークショップ等を実施）

定員 10社程度（各社2名まで）

**日程
場所** 2025年9月8日(月)～9月26日(金)
ハイブリッド（現地：東京/ オンライン）

概要

- **500 Global メンターによる集中的な個別メンタリング（ハイブリッド（現地：東京／オンライン））**
 - 参加者のグローバル進出準備に向けた詳細カリキュラム（セールス&マーケティング、プロダクト等）
 - 現地滞在プログラムに向けた成長戦略専任のメンターによるメンタリング（1on1）
 - プログラム計画の策定と目標の明確化
 - グローバルマインドセットの形成
- **最終審査**
 - 現地滞在プログラムに向け、個別メンターによる最終審査を実施

3 現地滞在プログラム | セッション・メンタリング・ネットワーキング

グローバル市場展開の検証を目的として、現地に長期滞在しながら、セッション、メンタリング、ネットワーキング等を実施

定員	10社程度（各社2名まで）
日程 場所	2025年10月6日(月)～10月31日(金) ※左記は現地プログラム実施日であり、移動日は含まれておりません シリコンバレー（パロアルト）
概要	<ul style="list-style-type: none">• 参加型セッション、ネットワーキング（対面）<ul style="list-style-type: none">– グローバルな資金調達について学び、投資家向けピッチを改善– グローバルネットワークを構築し、潜在顧客からフィードバック獲得および模擬投資家インタビューとのQ&Aセッションの実施• 個別メンタリング（対面）<ul style="list-style-type: none">– 成長戦略専任のメンターによるメンタリングおよび商談前の目標設定や商談後のフィードバック、ネクストアクションの整理– 活動ダッシュボードを利用したグローバル市場でのセールスプロセスの改善• ネットワーキング<ul style="list-style-type: none">– 対面でイベントを開催し、エコシステム内の関係者とネットワークを築いてトラクションを獲得• その他<ul style="list-style-type: none">– グローバルなステークホルダー（トップティアVC、メディア等）に向けたバーチャルデモデイの事前録画を実施（公開は渡航後となります）

4 フォローアッププログラム | 渡航後サポート

帰国後、引き続きグローバル進出に向けたロードマップ作成、進捗のトラッキングを実施

定員 10社程度（各社2名まで）

**日程
場所** 2025年11月3日(月)～11月14日(金)
ハイブリッド（現地：東京/ オンライン）

概要

- 500 Global プログラムチームによる個別メンタリング
 - プログラムの成果や課題の振り返り
 - 今後のステップに向けたロードマップの作成
 - 各スタートアップと作成したロードマップの進捗をフォローアップ
 - バーチャル・デモデイの結果と今後のアクションを確認

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Janko
Milunovic

Ethos の元CEOで、世界銀行のコンサルタントおよび外部アドバイザー。また、BioSense研究所のイノベーション諮問委員会のメンバー。複数のファンド、アクセラレータープログラムのメンターおよびEIRを務め、Temple of Understanding NGO の資金調達アドバイザーとしても活動。



George Ishii

1995年にAdobe Systemsでエンジニアとしてキャリアをスタートし、2000年にはPayPalに30人目の社員として入社。6年間にわたりプロダクトおよびUXを担当し、PayPalの基盤となる多くのプロダクト体験の設計に携わり、退社後はGeni.comを共同創業。その後、BetterWorksおよびComparablyをプロダクト／UX責任者として共同創業。今は様々なアーリー・ステージのスタートアップのアドバイザーおよび投資家としても活動。



Graham
Kennedy

18年間にわたり、北米・アジアでプロダクト、イノベーション、成長戦略、エンジニアリング、およびデータチームをリードしてきた経験豊富な最高プロダクト責任者。グローバルステージにおけるB2BのSaaS企業に対して、PLG (Product-Led Growth)、リーダーシップ、プロダクト、イノベーション、成長戦略等に関するアドバイスを提供。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Jonathan
Tanemori

日米バイリンガルで経験豊富なベンチャーキャピタリスト。30年にわたり、日系および多国籍企業において様々な業界で活躍してきました。現在は、アクセラレーター、ファミリーオフィス、Web3プロジェクト向けにベンチャーキャピタルに関するアドバイザリーサービスを提供。以前は、Primal Capital Management Ltd.のパートナーを務め、またSBIホールディングス／SBIインベストメントにて6年間にわたり、フィンテック、ブロックチェーン、暗号資産マイニング、エネルギー、Web3分野におけるベンチャーキャピタリストとして活躍。カリフォルニア大学バークレー校およびヘンリー・マネジメント・カレッジ卒業。



Marwa Nur
Muhammad

General Catalyst、Google Ventures、Founders Fundなどの支援を受けた様々なアーリーステージのスタートアップにおいて、10年以上にわたりプロダクトおよびUXをリード。彼女は、500 Globalの支援を受けたソーシャルビデオスタートアップ「Trance」を創業。定性・定量的な手法を用いた顧客理解、迅速なプロトタイプとテスト、エンゲージメントや継続率の課題解決、コミュニティ戦略の活用による粘着性と成長の実現を通じて、スタートアップがより良いプロダクトを構築できるよう支援。プリンマー大学でコンピュータサイエンスの学士号を取得し、カーネギーメロン大学でヒューマン・コンピュータ・インタラクションの修士号を取得。デザインに重点を置きつつ技術的バックグラウンドも持つ起業家リーダー。



Daniel
Idzkowski

10年以上にわたり会社の設立、資金調達、アドバイザーとして成功を収めてきた実績を持つ。起業家としてのキャリアにおいては、数百万ドルのベンチャー資金を調達またはスケールと収益性を実現した3社を創業。アドバイザーとしては、350社以上の企業が合計1億5,000万ドル以上の成長資金を調達するのを支援。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



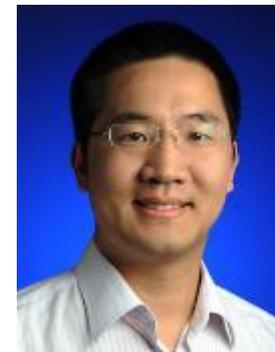
Gail Yui

優れたデザイン体験を伴う革新的なソリューションを生み出し、自律的で力強いチームを構築・運営・成長。プロダクト戦略における専門性は、ユーザーリサーチとアナリティクスに基づく。チームメンバー1人ひとりの成長を強く重視しており、企業内でインパクトを生み出すための目標達成を支援。



Brandon
Middleton

シリコンバレーを拠点に、過去15年間でAmazon、Microsoft、Cisco Systems、Wounded Warrior Project、スタンフォード大学などで活躍。出身はシカゴ南部で、2005年に西海岸へ移住。そしてAI/ML、モバイル、クラウドコンピューティング技術を活用し、顧客やクライアントのビジネスをデジタル変革へと導く技術・ビジネスリーダーとして活動。カリフォルニア大学バークレー校で経営学修士号（MBA）を、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校で電気工学の学士号（B.S.）を取得。



George
Zhang

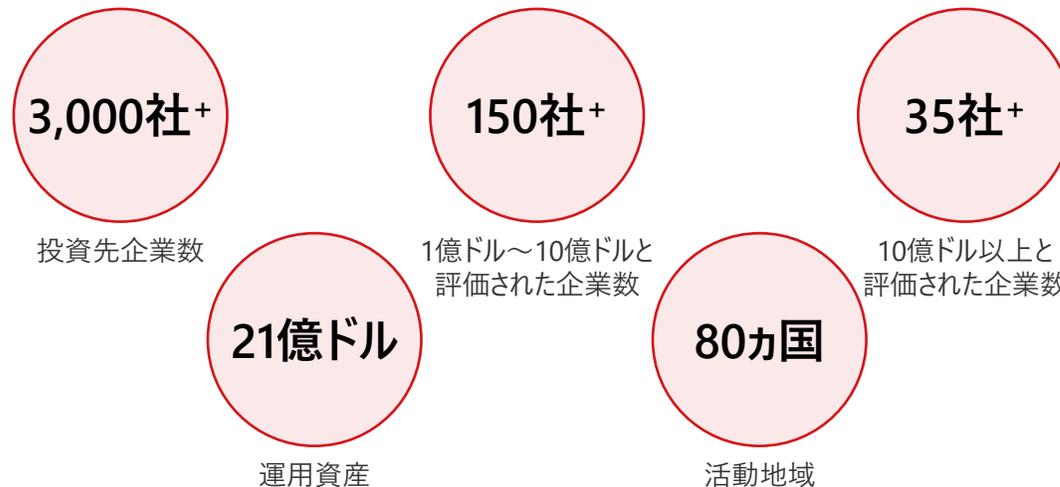
Uberのシニアリサーチリーダーとして活躍。過去にはGoogle、Intel、Lenovoに在籍。これまでに北米や中国の複数のスタートアップに助言を行い、多くの起業家のメンターも務めてきた。Uberでは、マネージャーの管理やリサーチの育成を行い、Safety & Privacy、Maps、Product Platform、Uber for Business、People Techなどの分野で数十名のチームを成長させた。以前在籍していたGoogleでは、検索体験の最適化、オフラインマップの実現、Googleロゴ（Doodle）でのユーザー満足度の研究、そしてGoogleのチャットボットの立ち上げなどに携わった。

500 Global

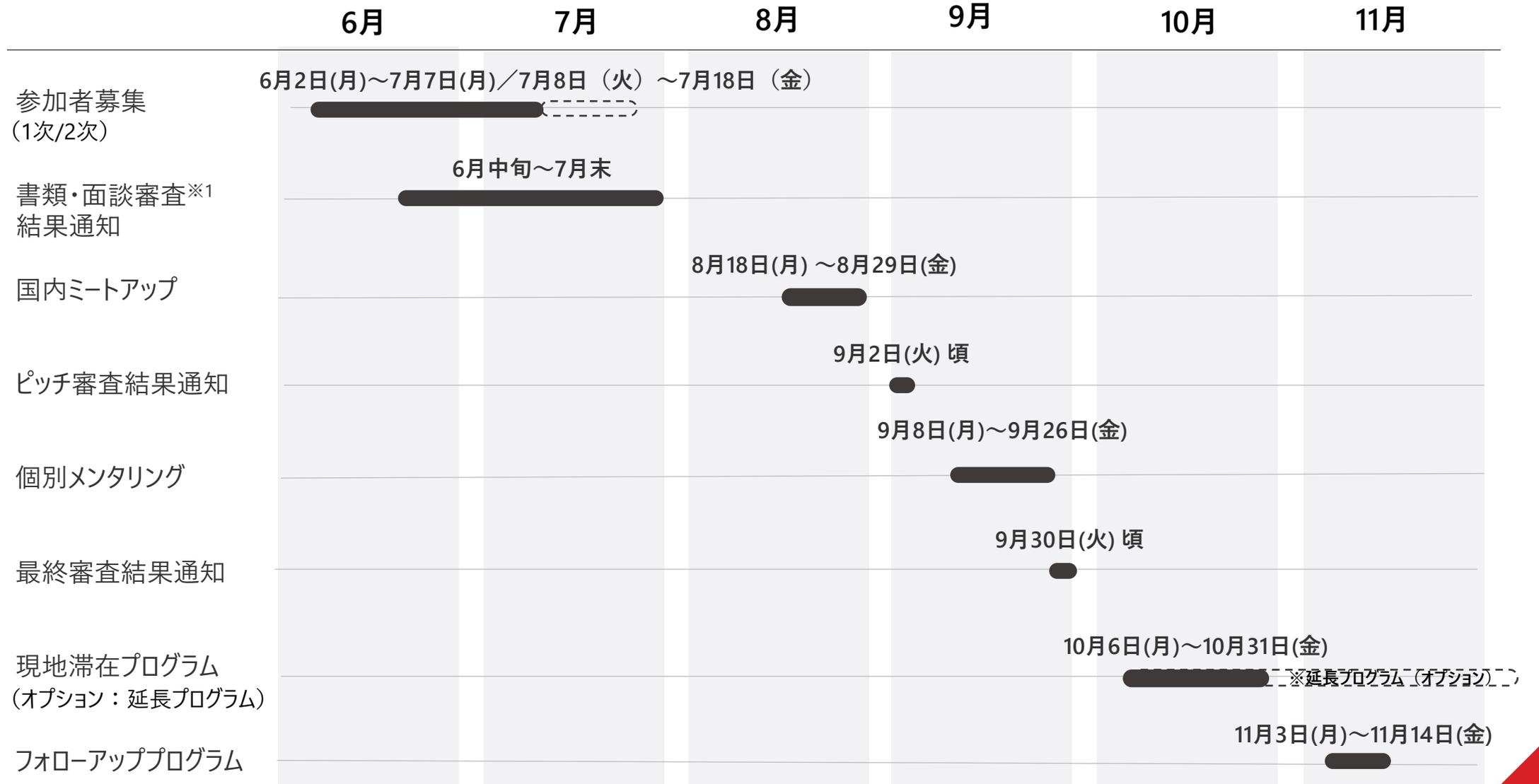
URL: <https://500.co/>



2010年に設立されたシリコンバレー本社のベンチャーキャピタルファームであり、世界中の成長中のテクノロジー企業に投資する。シードラウンドからリードし、アーリーステージからレイターステージまで、世界中の有望な起業家をサポートする。



03 SCHEDULE | スケジュール



※1 面談審査の日程は対象者に後日連絡します

定員

- 国内ミートアップ：25-30社程度（各社2名まで）
- 個別メンタリング、現地滞在プログラム：10社程度（各社2名まで）

主な対象

対象企業	グローバル進出を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	プレシード～シリーズA
分野	全分野
その他	<ul style="list-style-type: none"> • 海外展開における意思決定が可能な方（CXOクラス推奨）がプログラムを通じて参加が可能なこと • グローバル市場への進出を目指し、1か月程度北米での滞在が可能なこと

応募要件

プログラム参加者は以下の全ての条件を満たすこと

- 日本に活動拠点のある日系スタートアップに所属するCXOクラスもしくは海外事業責任者の方
日系スタートアップに所属する方である限り国籍は問わない
- 商談可能な英語力を有すること
- 潜在パートナーに提示するプロトタイプを有すること
- 参加後のアンケート等に協力いただけること
- 本プログラムが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方

※ 本プログラムは経済産業省・JETROが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します

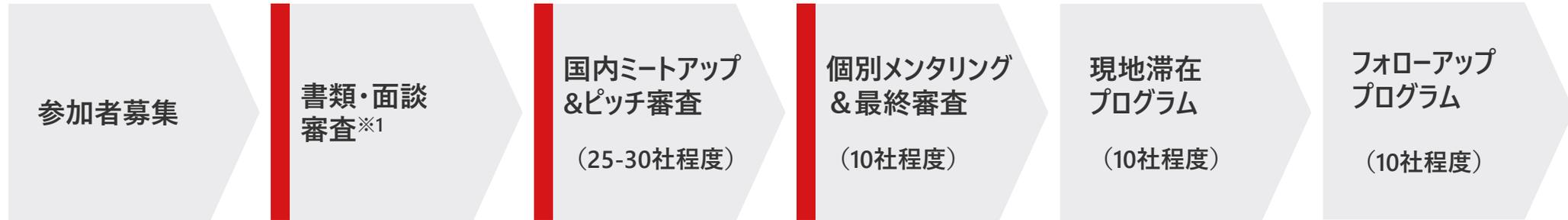
参加者による費用負担

- 国内移動費
- 米国渡航費（航空券）
- 海外での移動、飲食費用、通信費、VISA代、保険費などのその他発生する費用
- その他「主催者ジェットロによる費用負担」以外のすべての費用

主催者による費用負担（現物支給）

- メンタリング等のプログラム料
- 現地滞在プログラム実施期間中の宿泊費

※ 上記は全てジェットロにて手配の上、支給します。参加者に上記費用を支払うものではありません



※1 面談審査の日程は対象者に後日連絡します

選考基準

- 招聘するメンターならびにジェトロがサポート可能であること
- 本プログラムの参加によって、スケールアップが見込まれること
- 技術主導であり、製品、技術、サービスアイデアの新規性や競争優位性があること
- バリュープロポジションが明確であること
- ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- 市場需要を証明するトラクションがあること
- 海外展開に適したチーム構成であること
- パートナーと連携・協力するための方法、条件が明確であること
- 原則、他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと等

※本コースよりも上級者向け(レベルが高い、ミドルレイターステージ向け等)のJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。重複の可否はジェトロにて判断します

応募フォーム

2025年7月7日(月) 12:59 (JST) 締切

- 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
- 書類審査とあわせて面談審査も実施いたします
- 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください
- 別途、ピッチデッキ資料（英語）の提出が必要です
（形式・方法等は次ページ以降参照）

※ 7月8日～7月18日に2次募集を実施予定です

ただし1次募集で既定数に達した場合は2次募集は実施しません

ピッチデッキ資料の提出方法・プロセス

Step 1

資料作成

スライド（英語）にて作成

※原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換

Step 2

格納（アップロード）

クラウド(Google Driveなど)へ作成した資料を格納

[応募フォーム](#)の指定箇所にURLリンクを記載

- ※ クラウドへ格納の際、外部アクセスが可能かどうか事前にご確認ください
- ※ クラウド上での提出が難しい方は、J-StarX@jetro.go.jp 宛にメールにてご提出ください。その場合、メールの件名は「Silicon Valley Extended Program_企業名_氏名」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください

ピッチデッキ資料作成にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ ピッチデッキ資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、**最大10ページ**でご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（ファイルサイズは10MB以下）
- ファイル名は「**Silicon Valley Extended Program_企業名_氏名.pdf**」としてください
- **2025年7月7日(月) 12:59 (JST) まで**にご提出ください

■ ピッチデッキ資料に記載する内容

貴社および貴社のプロダクト・サービスについて以下の6項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

1. What problem you're solving
2. How your product/service works
3. How it makes money
4. Who it competes against
5. Its traction to-date
6. The team composition

※資料は**英語**でご作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

1. 本プログラムの参加費用支援は、原則1社2名までとなります（自社負担での同行については問題ありません）
2. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにも、メンターおよびジェトロ職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします
3. 本プログラムの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください（公開内容は事前に確認を行います）
4. 原則、他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと
※本コースよりも上級者向け（レベルが高い、ミドル・レイターステージ向け等）のJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。重複の可否はジェトロにて判断します

免責事項

[免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、渡航日程決定後のキャンセルは認められません
キャンセル料、もしくは変更料が発生する場合は自社にて負担いただきます

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 Silicon Valley Extended Program

実施機関 ジェトロ イノベーション部 / スタートアップ課

担当者 鵜飼、浅野

メール J-StarX@jetro.go.jp

